

講義コード	11C0104202	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員	王 玲	開講期	第2期
科目名	中国語4C					王 玲		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	中国語4は初めて中国語を学ぶ人を対象とする入門初級科目のひとつであり、中国語を受講する人は一年次にこの中国語1、2と並んで、この中国語3、4を受講する必要があります。中国語1、2は文法的基礎を中心として学ぶ科目であり、中国語3、4は日常的な会話表現を中心として学ぶ科目です。この中国語4は中国語3に続いて発音の基礎をから、基礎文法も学びますが、日常的な会話表現の訓練を主な目的とする科目であり、中国語1、2と併せて中国語初級（中国語検定試験4級レベル）の修得を目標としています。この科目は中国人の教員が担当します。								
到達目標	中国語入門の段階で最も重要な点は、中国語の発音とその表記法（併音字母＝中国語のローマ字表記法）を習得することです。漢字を知っている日本人は、視覚的な漢字の意義やニュアンスに依存し、表面的な意味を理解して簡単に分かった気持ちになりがちですが、言葉は発音をしっかりと身に付けて初めて、コミュニケーションに役立てることができるのです。中国語の4つのリズム（四声）や日本語にはない発音を、しっかりと体で覚えること、および中国語の基礎的な文法（名詞、形容詞、動詞の各主述文）構造を学び、言葉の語順に習熟することを目標としています。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	新しい外国語を学ぶことは、新しい発音法やイントネーション、言葉の語順感覚に習熟する必要があり、それは口と耳を使った肉体的なトレーニングなのです。従って、授業の時だけの練習ではなかなか身につけません。毎週何回かCDを聞いたり、声に出して反復練習したり、学んだことを復習することを心がけましょう。言葉を学ぶ基本はあくまで肉体的なトレーニングと考えて取り組み姿勢が大切です。（授業のほかには15時間を学修にあてること）								
授業計画	後期15回の授業を予定しています。授業はテキストに沿って行います。テキスト等については最初の授業で指示しますので、その指示に従って準備してください。 【第1回】第8課 語気助詞「了」、動詞「有」、前置詞「在」 【第2回】第8課 トレーニング8、リスニング8 【第3回】第9課 助動詞「可以」、「会」、「能」、動詞「喜欢」、前置詞「给」 【第4回】第9課 トレーニング9、リスニング9 【第5回】第10課 時間表現、経験を表す「过」、動作の回数、方向補語 【第6回】第10課 トレーニング10、リスニング10 【第7回】第11課 主述述語文、「有点儿」、「是～的」、比較表現 【第8回】第11課 トレーニング11、リスニング11 【第9回】第12課 結果補語、「从～到…」、目的語を2つもつ動詞、時間の長さの言い方 【第10回】第12課 トレーニング12、リスニング12 【第11回】第13課 「是」の省略、使役動詞「让」・「叫」、番号の言い方、曜日の言い方 【第12回】第13課 トレーニング13、リスニング13、第14課 様態補語 【第13回】第14課 動作の進行を表す表現、トレーニング14、リスニング14 【第14回】第15課 「就要～了」、主述構造の目的語、「的」の用法、前置詞「为」 【第15回】第15課 トレーニング15、リスニング15								
成績評価の方法	期末に試験を実施、また随時小テストや作文の提出を求めます。最終成績は、授業への取り組みや学習の状況、試験や提出物の採点結果に応じて評価します。授業の進捗や成績評価については、授業の際に担当の先生にご確認ください。								
フィードバックの内容									
教科書	『1冊めの中国語（会話クラス）』劉穎、喜多山幸子、松田かの子（白水社）								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	このシラバスは専任の森山秀二が代表して書いています。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									